

# 旧煉瓦製造施設管理活用棟建設等工事設計業務プロポーザル審査委員会

## 第1回会議 議事録

議事録作成者  
文化振興課 主任 岡部

### ■ 開催日時

令和6年4月12日（金）14：00～15：30

### ■ 開催場所

深谷市役所本庁舎3階 会議室3-1

### ■ 出席者

#### 【プロポーザル審査委員会】

長原 一 委員（副市長）  
松村 一 委員（教育部長）  
福島 正孝 委員（産業振興部次長兼産業ブランド推進室長）  
塚越 稔 委員（渋沢栄一政策推進課長）  
中島 武彦 委員（教育施設課長）

#### 【担当部署】

教育部 塚原 次長

#### 【事務局】

文化振興課 吉岡課長、知久補佐、田邊係長、幾島主任、岡部主任

### ■ 実施内容

1. 開会 司会 田邊係長
2. 挨拶 長原副市長
3. 委員及び職員紹介
4. 委員長・副委員長選出  
長原委員長、松村副委員長就任  
長原委員より委員長就任挨拶
5. 議事

#### ≪報告事項≫ (1) 審査委員会設置の趣旨説明

事務局より説明。

→異議なし。

## 《報告事項》(2) 旧煉瓦製造施設管理活用棟の概要説明について

事務局より説明。

質疑内容は以下のとおり。

### ○ ホフマン輪窯 6号窯等展示活用事業 基本計画 P.42 諸室構成表

- ・6号窯内の飲食スペースの面積は120㎡で間違いはないか。(長原委員長)  
→ 間違いはない。(事務局)

## 《協議事項》(1) 公募型プロポーザル実施要領等について

事務局より説明。

協議内容は以下のとおり。

### ○ 実施要領(案) P.2 3 計画の概要 (7) 概算事業費

- ・概算事業費に含むもの「外構」に係員用駐車場は含まれるか。(長原委員長)  
→ 含まれる。資料に追記して修正する。(事務局)
- ・厨房設備の設計費は、計画建物の設計費に含まれるか。(長原委員長)  
→ 含まれる。(事務局)
- ・ホフマン輪窯6号窯内の飲食エリアのデザイン費用が設計費に含まれることをわかりやすく示してほしい。(長原委員長)  
→ 資料を修正する。(事務局)
- ・飲食エリアでは、洋食を提供することとし、収容人数は50人程度を想定していることを記載したほうがいい。  
→ 資料4 別紙14「必要諸室表」で「厨房」の特記事項として記載する。  
(事務局)

### ○ 実施要領(案) P.2 3 計画の概要 (9) 事業スケジュール

- ・イ 建設工事期間は週休2日制か。(長原委員長)  
→ 特段指定していない。(事務局)

### ○ 実施要領(案) P.5 4 参加資格等 (5)

- ・深谷市及びホフマン輪窯等展示活用事業における展示設計事業者、飲食運営事業者等と十分に協議を行うことを「特に留意する事項」として、記載したほうがよい。(長原委員長)  
→ 資料を修正する。(事務局)
- ・打合せスケジュールを提出してほしい。(長原委員長)  
→ 2次審査で提出してもらい、業務の実施方針において審査する。(事務局)

### ○ 実施要領(案) P.5 5 実施スケジュール

- ・実施要領の配布(4月19日)から参加申込書等の提出期限(5月10日)の間内はゴールデンウィークを挟むが、日数的に問題はないか。(長原委員長)

→ 契約検査課に事前に確認し、問題ないことを確認済。(事務局)

### ○ 実施要領(案) P.8 8 技術提案書の作成及び提出

- ・ 技術提案をもとめるテーマとして、飲食エリアに関する内容を設定したほうがいい。(長原委員長)
  - テーマ⑤として飲食エリアに関するテーマを設定する。(審査委員)
  - (事務局案) テーマ④「その他独自テーマについて」を設定せず、  
テーマ④「煉瓦窯の魅力を活かした飲食エリアのデザイン」に修正。※会議終了後提案。

### ○ 実施要領(案) P.10 9 受注候補者の特定方法

- ・ (2) 第一次審査 ア 審査方法 5者以内 とは、点数が高い順を指すか。(中島委員)
  - 上位5者を指す。資料を修正する。(事務局)
- ・ (2) 第一次審査 イ 結果の通知 審査結果は公表するか。(中島委員)
  - 公表しない。(事務局)
- ・ (3) 第二次審査 ア 審査方法 審査は合議制を採用するか。(塚越委員)
  - 合議制を採用する。資料を修正する。(事務局)

以上、指摘事項を修正したうえで、プロポーザルを実施することとする。

## ≪協議事項≫ (2) 評価基準について

事務局より説明。

協議内容は以下のとおり。

### ○ 審査における評価基準(案) P.8 二次審査における評価基準

- ・ テーマ⑤飲食エリアに関することを新設するにあたり、テーマ毎の配点(70点満点)をどう見直すか。(松村委員)
  - (審査委員案)

テーマ①「『深谷＝煉瓦』のシボル、文化学習・観光の拠点となる施設」	20点
テーマ②「来場者及びスタッフの効率の良い動線計画」	15点
テーマ③「文化財に配慮した建築計画」	15点
テーマ④「その他 独自テーマについて」	5点
テーマ⑤「飲食エリアについて」(新設)	15点
	計70点
  - (事務局案)※会議終了後提案。

テーマ①「『深谷＝煉瓦』のシボル、文化学習・観光の拠点となる施設」	25点
テーマ②「来場者及びスタッフの効率の良い動線計画」	15点
テーマ③「文化財に配慮した建築計画」	15点

テーマ④「煉瓦窯の魅力を活かした飲食エリアのデザイン」(新設) 15点  
計70点

以上、指摘事項を修正したうえで、プロポーザルを実施することとする。

6. 閉会